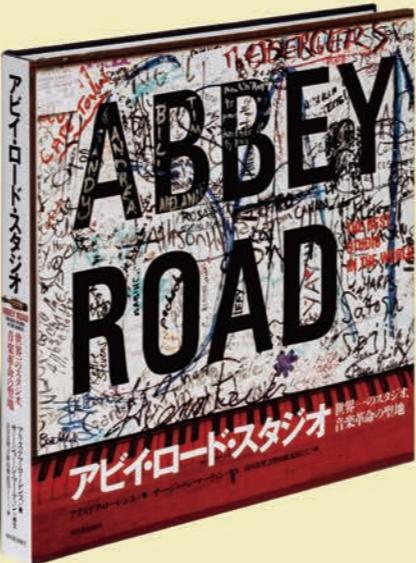


本書の5つの特徴

- 1 クラシックからロック、ジャズ、そして映画音楽やミュージカルまで、幅広いジャンルで支持されたスタジオの華麗な歴史を追った初めての本!
- 2 グラモフォン、コロムビア・グラモフォン、EMI、HMV、パーロフォンなど音楽業界の歴史を彩った会社やレーベルの歴史を図版と共に紹介!
- 3 初めてスタジオの内部を公開、レコード盤のカッティング、マイクの種類や性能、ミキシングほかエンジニア垂涎の技術関連の逸話が満載!
- 4 ステレオの発明、マルチトラック・レコーディングの導入など録音技術の歴史とともに音楽ビジネス発展の軌跡がわかる稀有な資料!
- 5 20世紀から21世紀にかけての音楽と録音技術の軌跡を10年ごとにたどった「スタジオが主役」の初めてのビジュアル読本決定版!



◎著者

アリステア・ローレンス

Alistair Lawrence

BBC Music ほか、各紙誌で活躍する
ジャーナリスト、音楽ライター。

◎序文

サー・ジョージ・マーティン

Sir George Martin

1926年ロンドン生まれ。EMIレコードに入社後
パーロフォン・レーベルでレコーディング・プロデューサーとなり、ジュディ・ガーランド、スタン・ゲット、
エラ・フィット・ジエラルドなど多くのアーティストと組んでヒット作を飛ばした。1962年にアビイ・ロード
第3スタジオでビートルズのオーディションを行ない、その後ビートルズとともに数々のレコーディング
革命を成し遂げる。英国内では30曲の、アメリカでは
23曲のトップ1シングルヒットを誇る。

◎監修者

川原伸司

Kawahara Shinji

ソニー・ミュージックのチーフプロデューサーを経て、音楽
プロデューサーとして日本のポップシーンをリードしている。
杉真理、ザ・グッバイ、TOKIO、中森明菜、松本隆などを
手がける。平井夏美の名前で井上陽水らに多くの楽曲も
提供。2007年には『服部良一～生誕100周年記念トリビュ
ート・アルバム』などでレコード大賞特別賞を受賞。

山田ノブマサ

Yamada Nobumasa

ピクター・スタジオを経て、1993年にフリーランスとなり、
レコーディング・エンジニア／ドrama／プロデューサー
として幅広く活動中。LOVE PSYCHEDELICO、福山雅治、
ゴスペラーズ、近藤等則などを手掛る。自分がプロデュ
ースするamp;box レーベルはクオリティの高さが絶賛
されている。

広田寛治

Hirota Kanji

山梨県立大学非常勤講師などを経て、作家・現代史研究
家として活動中。編著・監修書に「現代史のなかのロック
シロール(増補新版)」「ロック・クラシック入門」「ザ・ビ
ートルズ全曲バイブル」などがある。

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2 Tel.03-3404-1201 Fax.03-3404-0338 http://www.kawade.co.jp/

お申込み書

ご注文数

アビイ・ロード・スタジオ
アリステア・ローレンス 著

ISBN978-4-309-27431-7

お名前

お電話番号

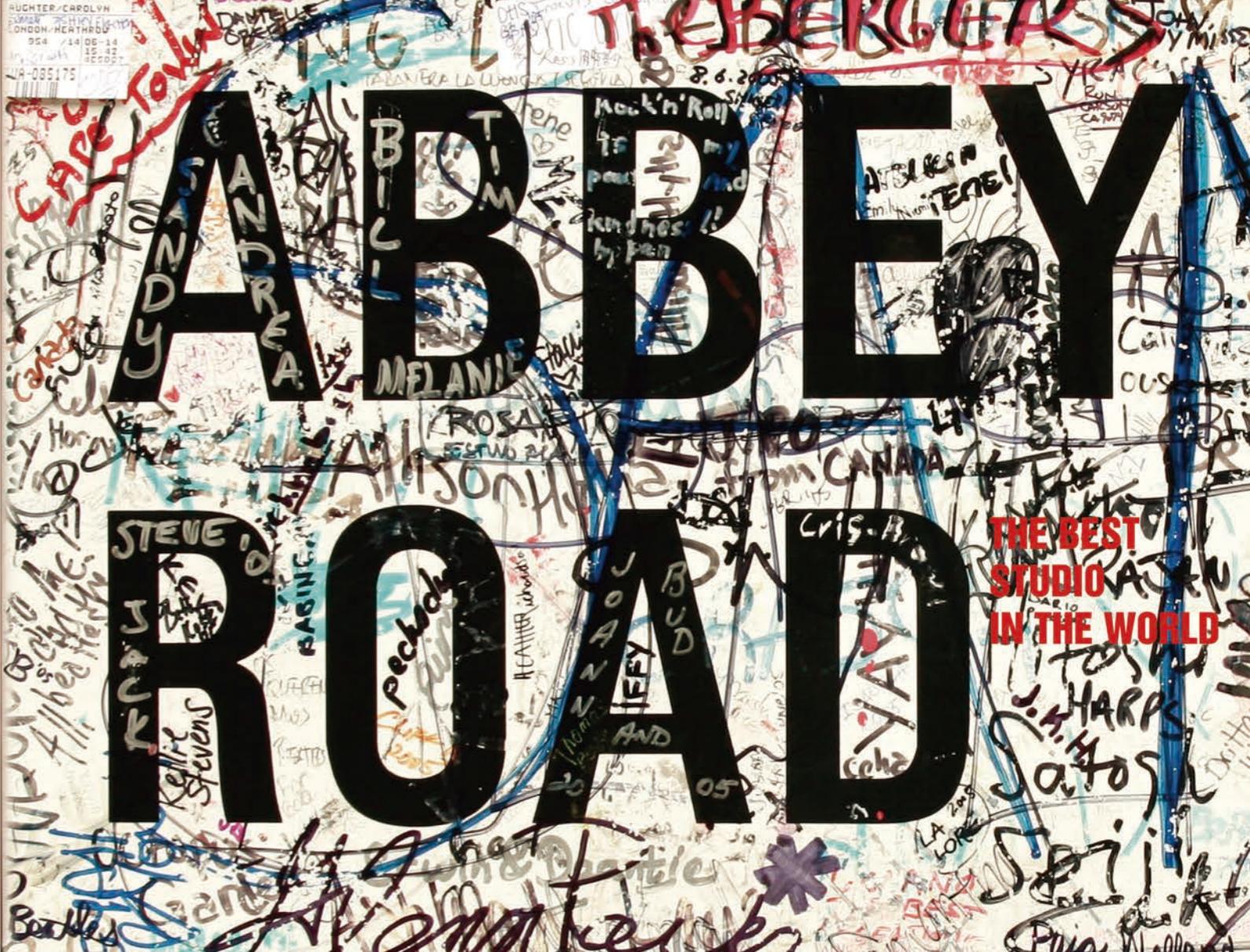
ご住所

河出書房新社

2013年11月中旬発売

定価 9,975円(税込)(本体9,500円)

*2013年9月現在(税5%)



アビイ・ロード・ スタジオ

世界一のスタジオ、
音楽革命の聖地

アリステア・ローレンス 著 サー・ジョージ・マーティン 序文
川原伸司、山田ノブマサ、広田寛治 監修

2013年11月中旬発売

世界でもっとも有名なレコーディング・スタジオの
貴重な写真600点以上を収録。

20世紀から21世紀にかけての
音楽と録音技術の軌跡を
10年ごとにたどった
「スタジオが主役」の初めてのビジュアル読本・決定版!



世界一のスタジオの物語

神が人類に与えた最高の贈り物のひとつが音楽だった。あまりにも大きな贈り物であるため、音楽のない世界を想像しようとしても到底できるものではない。しかし、その音楽を保存しておく、つまり、後の時代の消費に備えて凍結させておくための手段を見出したのは人間であった。1世紀以上前にレコーディング技術が発明されたことで、私たちは音楽という途方もない蓄積を、気軽に手に入れることができるようになった。アビイ・ロード・スタジオは、この深淵かつ困難な仕事において先頭に立ち、レコード界の聖地となった。(中略)

アビイ・ロード3番地の建物の外観には、その内部の様子を知る手がかりは全くなかった。これは今日に至るまで変わらない。レコーディングという謎に満ちた世界は、一般大衆の目からはすっかり隠されているのだ。(中略)

プロデューサー、レコーディング・エンジニアをはじめとする隠れたヒーローたちは、常に世界の先端であり続けてきたアビイ・ロードの録音技術を守り育て、ここを文字通りの「不思議の国」にすべく力を合わせてきた。この本は、そんな世界一のスタジオの物語である。私はこの場所で、数多くの才能あふれるスターたちの作品と共に創ることで育てられてきたと言ってよい。この途方もない物語は、もう十分に語られ、私自身もその多くを承知しているが、それでもなお心を奪われてしまう。だから、今あなたは私と一緒にアビイ・ロード3番地を訪れ、スタジオの入口に向かう階段を昇っていると想像してほしい。このうえなくすばらしい時間を過ごせるはずだ。私が保証しよう。

サー・ジョージ・マーティン
2012年5月



*若かりし頃のサー・ジョージ・マーティン(本文より)

目次 Contents

アビイ・ロード前夜

1929-1939 アビイ・ロードの黎明期

1940年代 戦争およびその後

1950年代 変化の10年

1960年代 サウンドの科学

1970年代 アルバムの時代

1980年代 新たな挑戦の始まり

1990年代 スタジオに集まる 新旧アーティスト

2000年代 ライブへの転換と ファンタジー映画

スタジオの内部

実験と発明

舞台裏の仲間とドラマ

アビイ・ロード小史

ミュージシャンじゃなくても、一度は門をくぐりたい、音楽的世界遺産です。

星加ルミ子
音楽評論家

Abbey Road goes to the movies

アビイ・ロードが映画界に進出

音楽技術により、アビイ・ロード・スタジオは映画音楽のコーディネーターを兼ねる。そのおかげで1980年代に大きな飛躍を遂げることになる。トン・カラバジオの死後には、アビイ・ロード・スタジオとアーヴィング・ブルームのあわせで、1980年にソニー・エリクソンが映画音楽の音楽クリエイターを立ち上げていたんだが。

「アビイ・ロードは音楽スケーリングで大きな飛躍を果たした。さすがに技術的な支援もした。子供の会員登録に行なった」とカラバジオは語る。「私が死んだ時、アビイ・ロードは死んでしまった。死んでしまったから、音楽を、まことにちゃんとちゃんと生き残らせてもらいたいんだ!」

アビイ・ロードの音楽監修官であるカラバジオによれば、既に会員登録の会員数は12%。

アビイ・ロードの音楽監修官であるカラバジオによれば、「アビイ・ロードは映画音楽の音楽クリエイターとして、非常に重要な役割を果たしている。」

アビイ・ロードは、多くの音楽制作会社を抱いていた。その会員登録を行なった。

「スター・ウォーズ」に使ったスタジオの選択

ハリウッド映画の大本命の1つ、アビイ・ロードのクラウド・クラウドがコーディネートされた最初の作品が、「スター・ウォーズ」(1977)のものだ。ソニー・エリクソンの通称「ソニー」、2011年「スター・ウォーズ・ジャーナル」(1983年)であった。ビニールアーティストの作風は、技術者とのコミュニケーションを重視する傾向がある。これらの作風は、ソニーが2011年開催のビヨードーの会場を運営していくことになる。

「スター・ウォーズ」に使ったスタジオの選択

ハリウッド映画の大本命の1つ、アビイ・ロードのクラウド・クラウドがコーディネートされた最初の作品が、「スター・ウォーズ」(1977)のものだ。ソニー・エリクソンの通称「ソニー」、2011年「スター・ウォーズ・ジャーナル」(1983年)であった。ビニールアーティストの作風は、技術者とのコミュニケーションを重視する傾向がある。これらの作風は、ソニーが2011年開催のビヨードーの会場を運営していくことになる。

アビイ・ロードの音楽監修官であるカラバジオによれば、「アビイ・ロードは映画音楽の音楽クリエイターとして、非常に重要な役割を果たしている。」

アビイ・ロードは、多くの音楽制作会社を抱いていた。その会員登録を行なった。

「スター・ウォーズ」に使ったスタジオの選択

ハリウッド映画の大本命の1つ、アビイ・ロードのクラウド・クラウドがコーディネートされた最初の作品が、「スター・ウォーズ」(1977)のものだ。ソニー・エリクソンの通称「ソニー」、2011年「スター・ウォーズ・ジャーナル」(1983年)であった。ビニールアーティストの作風は、技術者とのコミュニケーションを重視する傾向がある。これらの作風は、ソニーが2011年開催のビヨードーの会場を運営していくことになる。

「スター・ウォーズ」に使ったスタジオの選択

ハリウッド映画の大本命の1つ、アビイ・ロードのクラウド・クラウドがコーディネートされた最初の作品が、「スター・ウォーズ」(1977)のものだ。ソニー・エリクソンの通称「ソニー」、2011年「スター・ウォーズ・ジャーナル」(1983年)であった。ビニールアーティストの作風は、技術者とのコミュニケーションを重視する傾向がある。これらの作風は、ソニーが2011年開催のビヨードーの会場を運営していくことになる。

アビイ・ロードの音楽監修官であるカラバジオによれば、「アビイ・ロードは映画音楽の音楽クリエイターとして、非常に重要な役割を果たしている。」

アビイ・ロードは、多くの音楽制作会社を抱いていた。その会員登録を行なった。

「スター・ウォーズ」に使ったスタジオの選択

ハリウッド映画の大本命の1つ、アビイ・ロードのクラウド・クラウドがコーディネートされた最初の作品が、「スター・ウォーズ」(1977)のものだ。ソニー・エリクソンの通称「ソニー」、2011年「スター・ウォーズ・ジャーナル」(1983年)であった。ビニールアーティストの作風は、技術者とのコミュニケーションを重視する傾向がある。これらの作風は、ソニーが2011年開催のビヨードーの会場を運営していくことになる。

アビイ・ロードの音楽監修官であるカラバジオによれば、「アビイ・ロードは映画音楽の音楽クリエイターとして、非常に重要な役割を果たしている。」

アビイ・ロードは、多くの音楽制作会社を抱いていた。その会員登録を行なった。